



多くの人でにぎわった中央通り商店街

縁起物などを求め長蛇の列

新春恒例の「十三日市」

新春恒例の初市「十三日市」は1月13日、中央通り商店街で開かれました。市開きでは、鏡開きが行れたほか、甘酒の振る舞いや猪苗代町芸能保存会による太鼓の演奏が披露され、新年を祝いました。初市の会場には、起き上がり小法師や風車、だるまなどの縁起物や飲食物など約60の露店が出店。猪苗代警察署による子ども向けのパトカー試乗体験と警察官の制服が着用できるブースも設けられ、子どもたちに大人気でした。

訪日外国人へのおもてなしを学ぶ

インバウンド向き合い方講座

訪日外国人旅行者の対応方法を学ぶ「インバウンド向き合い方講座」は1月16日、学びいなかで開催されました。磐梯町・北塩原村・猪苗代町の3町村で構成する磐梯山周辺観光推進連絡協議会が令和6年度福島特定原子力施設地域振興交付金事業を活用して実施。元客室乗務員の長尾雪子さんが講師を務め、参加者は外国人が期待する接遇やロールプレイによる実践を行い、日本ならではのおもてなしについて学びました。



外国人への接遇やおもてなしを学ぶ講座

貴重な文化財を火災から守ろう

文化財防火デー火災防御訓練

町内の貴重な文化財を守るための「第71回文化財防火デー火災防御訓練」は1月19日、百目貫の公孫樹と地藏堂で行われました。訓練には、消防団や消防署、地域住民ら約150人が参加し、文化財の搬出や初期消火、放水などの訓練を実施しました。訓練終了後、二瓶盛一町長が「訓練を拝見し、初期消火と皆さんの連携がいかに重要かを再認識しました。今後とも地域ぐるみの訓練や予防消防の強化をお願いします」と講評を述べました。



文化財の放水訓練をする団員ら

消防力の充実強化を図る

小型動力ポンプ積載型軽自動車交付式

町消防団への小型動力ポンプ積載型軽自動車交付式は1月23日、町役場で行われました。式には、交付を受ける田子沼班と白津班の消防団員や地区関係者ら約15人が出席。二瓶盛一町長が「機器更新や教育訓練を通して、消防力の充実強化を図っていきます」とあいさつし、六角武志消防団長に管轄を手渡しました。六角団長は「非常時には完璧に消防ポンプを使いこなせるように訓練に励んでください」とあいさつしました。



田子沼班と白津班に新たに配備された軽積載車



二瓶町長に受賞を報告した神田さん(左)

神田さん念願の金賞を初受賞

第26回米・食味分析鑑定コンクール国際大会

第26回米・食味分析鑑定コンクール国際大会が12月6日、7日の2日間にわたり山梨県北杜市で開かれ、最高賞に当たる「国際総合部門」金賞に本町で初めて神田忍さん(名古屋町)が輝きました。神田さんは12月17日に町役場を訪れ、二瓶盛一町長に受賞を報告。平成28年から出品を続け「農家人生最大の目標だった。この受賞をきっかけにもっと農家に光が当たり、若い世代の目標になれば」と喜びを話してくれました。

新年の町政発展を願う

町シルバー人材センターが町に門松を贈呈

町シルバー人材センターは12月24日、会員の皆さんが手作りした高さ150センチほどの門松を町に寄贈しました。同センターでは、町政発展と町民の幸せを願い、令和5年を除き毎年町に寄贈しており、今回で22回目。佐藤智昭理事長らが同日、町役場の正面玄関に設置し、1月15日まで飾られました。

同センターでは、会員の皆さんが例年12月ごろからしめ縄やミニ門松を制作し、販売しています。



門松を寄贈した町シルバー人材センターの皆さん



新年の飛躍を誓う出席者

節目の年に一層の町政発展を誓う

新年あいさつ交歓会

令和7年新年あいさつ交歓会は1月6日、町役場で開かれました。関係団体などから約110人が出席し、新年を祝うとともに町政の発展を誓いました。

二瓶盛一町長が「今年は本町の町政施行70周年という節目の年です。町民の皆さんが参画するいろいろなイベントを催したいと考えています。新年をすばらしい年にしていきたい」とあいさつした後、後藤公男町議会議長が祝辞を述べました。

年頭に無火災・無災害を祈願

町消防団出初式

町消防団出初式は1月12日、町内の諏訪神社で行われ、消防団幹部や関係機関などから約40人が出席しました。式では神事が執り行われ、二瓶盛一町長、六角武志消防団長らが玉串をささげて、今年1年の無火災・無災害を祈願しました。また、六角団長らがあいさつを述べました。

式に先立ち、消防団員が旧役場跡地から中央通り商店街を通して諏訪神社まで行進し、火災予防を呼び掛けました。



火災予防を呼び掛け行進する消防団員